

製品安全データシート

MP-023

製造者情報	会社	アクア化学株式会社
	住所	大阪府和泉市テクノステージ3丁目7番24号
	担当部署	技術部 担当者(作成者)山本 健
	電話番号	0725-53-5510 FAX 0725-53-5520
	緊急連絡先	化成品部 電話番号 0725-53-5510

製品名(化学品名、商品名等)	アクアプレスMA-10I
----------------	--------------

物質の特定	単一製品・混合物の区別	混合物
	化学名(主成分)	イソパラフィン系炭化水素、及び中性エステル
	成分及び含有量	90%(パラフィン系炭化水素)
	化学式又は構造式	C ₁₂ H ₂₆
	官報公示整理番号(化審法、安衛法)	2-10
	CAS NO 31807-55-3	国連分類及び国連番号
		クラス3 1268
	安衛法通知対象物質	該当しない
	PRTR法指定化学物質	該当しない

危険有害性の分類	分類の名称:・引火性液体(第4類危険物)
	危険性:・引火しやすい。
	有害性:・皮膚刺激性は小さい。
	環境影響:・環境影響に関する情報はない。

応急処置	目に入った場合:・清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合:・汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨て、製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。
	吸収した場合:・被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。 ・直ちに医療処置を受ける手配をする。
	飲み込んだ場合:・直ちに医療処置を受ける手配をする。 ・揮発性液体なので、吐き出させるとかえって危険である。 ・意識がなければ、口から何も与えてはならない。

火災時の措置	消火方法:・消火作業は風上から行い、消火作業の際は必ず保護具を着用する ・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。 ・火災場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火剤 :・泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂
漏出時の措置	・作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。 ・風上から作業して風下の人を非難させ、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・少量漏れたときは、乾燥砂、土、おが屑、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
取り扱い及び 保管上の注意	取り扱い:・取り扱いは換気のよい場所で行う。 ・取り扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ・容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。 保管 :・通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。 ・直射日光が当たらないようにする。 ・火気、熱源より遠ざける。
暴露防止措置	管理濃度: 設定されていない。 許容濃度: 日本産業衛生学会(1992年度版): 記載なし ACGIH(1991～1992年度版): 記載なし 設備対策:・できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用するほうが望ましい。 ・取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 保護具 吸用保護具:防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク、空気呼吸器 ・保護眼鏡 :ゴーグル型、防災面 ・保護手袋 :耐油性の保護手袋 ・保護衣 :保護長靴、保護服、保護前掛け
物理／化学的 性質	外観等 :無色透明液体 沸点 :179～220℃ 融点 :データなし 比重 :0.79(15/4℃) 初留点 :179℃ 乾点 :220℃ 溶解度 :水に不溶

危険性情報 (安全性・ 反応性)	引火点:58℃ 発火点:445℃ 爆発限界 上限:7.0vol% 下限:0.8vol% 可燃性:・引火しやすい。 発火性:・(自然発火性、水との反応性) : なし 酸化性:・なし 自己反応性・爆発性:・蒸気密度は空気より重く、低所に滞留して爆発性 混合ガスをつくりやすい。 粉じん爆発性:・なし 安定性・反応性:・通常の取り扱い条件においては安定である。 その他:・なし
------------------------	---

有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性:・皮膚腐食性に関する情報はない。
 刺激性(皮膚、目):・皮膚 ラビットの皮膚に対して若干刺激性がある。
 感作性:・感作性に関する情報はない。
 急性毒性(50%致死量等を含む):・経口(ラット)LD-50 5,000mg/kg
 亜急性毒性:・亜急性毒性に関する情報はない。
 優性毒性:・優性毒性に関する情報はない。
 がん原性:・がん原性に関する情報はない。
 変異原生:・変異原生に関する情報はない。
 生殖毒性:・生殖毒性に関する情報はない。
 催奇形性:・催奇形性に関する情報はない。
 その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む):・なし

環境影響情報

分解性:・分解性に関する情報はない。
 蓄積性:・データーなし
 魚毒性:・データーなし
 その他:・なし

廃棄上の注意

- ・保護メガネ、保護手袋など必要な保護具を着用して作業を行う。
- ・廃棄は焼却によって行い、ケイソウ土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却するか、焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。
- ・容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

輸送上の注意

陸上輸送 消防法(第2石油類)

容器:・危険物の規制に関する規則別表第3の3

容器表示:・第2石油類、危険等級Ⅲ、数量、火気厳禁

積載方法:・運搬時の容器積み重ね高さは3m以下

混載禁止:・第1類及び第6類の危険物、高圧ガス

海上輸送 運搬安全法(引火性液体)

注意事項:・火気厳禁

その他、引火性、有害性液体の一般的な注意事項による他、当データシートの
取り扱い、保管上の注意事項参照のこと。

適用法令

・別紙のとおり

その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

・引用文献 :別紙のとおり

化学物質法規制調査表

製品名 アクアプレスMA-101									
会社名 アクア化学株式会社 CAS NO. 31807-55-3									
化審法 既存化学物質番号 2-10 TSCA NO.									
安衛法 公表化学物質番号 2-10 EINECS NO.									
A. 労働安全	A-1 表示義務物質 (令18条、別32条)		1 義務物質 (人体への影響)		2 義務物質 (1を除く)				⑨ 左記以外の物質
	A-2 特定化学物質 (令別表第三)		1 1類物質		2 2類物質		3 3類物質		⑨ 左記以外の物質
	A-3 有機溶剤 (令別表六の二)		1 1種溶剤		2 2種溶剤		3 3種溶剤		⑨ 左記以外の物質
	A-4 危険物 (令別表第一)		1 爆発	2 発火	3 酸化	④ 引火	5 可ガ		
B. 労働基準法 (施行規則別表第一に基づく告示)			1 第一特定化学物質			2 中度有害物質		3 程度有害物質	⑨ 左記以外の物質
C. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律			1 第一特定化学物質			2 第二特定化学物質		3 指定化学物質	⑨ 左記以外の物質
D. 毒物及び劇物取締法 (別表第一、二、三)			1 特定毒物			2 毒物		3 劇物	⑨ 左記以外の物質
E. 消防法 (法別表及び試験判定物質)			1 1類	2 2類	3 3類	④ 4類	5 5類	6 6類	9 左記以外の物質
F. 高圧ガス取締法 (一般則 第2条一号、二号)			1 可ガ			2 毒ガ		3 自主基準	⑨ 左記以外の物質
G. 大気汚染防止法 (令第1条一号～四号、第10条)			1 有害物質			2 特定物質			⑨ 左記以外の物質
H. 水質汚濁防止法 (令第2条、第3条五号～十一号)			1 健康保護物質			2 環境保全物質			⑨ 左記以外の物質
I. 廃棄物の処理、清掃に関する法律			1 有害物質(55/10/21、総理府令48号、別表第二第2欄)						⑨ 左記以外の物質
J. 輸送関係、各法規			① 消防、劇物、高圧			② 危規則、港則法		③ 道路交通法	9 左記以外の物質
K. 許容濃度			ppm 産業衛生学会勧告						9 左記以外の物質
その他の特記事項 (規制動向地)									

記入者 氏名 山本 健

所属 技術部

電話番号 0725-53-5510

記入年月日 2018年1月16日

引用文献

1. EPA Toxic Substance Control Act Chemical Substance Inventoryt (TSCA)
2. European Inventory of Existing Commercial Chemical Substance (EINECS)
3. Registry of Toxic Effects of Chemical Substance (RTECS)
4. 化審法既存化学物質ハンドブック第5版 化学工業日報社
5. 安衛法化学物質 //
6. 危険物総索引 日本海事検定協会
7. 労働安全衛生法化学物質総覧下 中央労働災害防止協会
8. 主要化学品1000種毒性データ 海外技術資料研究所
9. 既存化学物質要覧 //
10. 道路輸送危険物のデータシート (財)総合安全工学研究所
11. 有害物質データ情報 (社)日本海難防止協会
12. 産業中毒便覧 医歯薬出版
13. 許容濃度提案理由書集 日本産業衛生学会
14. 海洋汚染防止条約 海文堂
15. 化学品法令集 化学工業日報社
16. 有害液体物質総覧 海洋環境法令研究会編
17. 危険物船舶運送および貯蔵規則ならびに関係告示 運輸省海上技術案全局監修
18. 安全衛生法令要覧 中央労働災害防止協会
19. 危険・有害物便覧 //
20. 1991-1992年度化学物質と物理的因子の ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienests)
21. 製品安全データシートの作成指針 (社)日本化学工業協会
22. 化審法の既存化学物質安全性点検データ集 (財)化学品検査協会
23. Material Safety Data Sheet Genium's Reference Collection
24. セーフティデータシート 石油化学工業協会

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

ここに記載の情報は、種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。

必要な安全な取扱いの採用にあたって、使用者の責任においてこの情報の適合性をお決めください。